

# 平成 27 年度 鑑石園 デイサービスセンター 事業報告書

## 1. 事業運営の概況

地域密着型デイサービスセンターとして、地域との連携の強化を心掛け、ボランティアに来て下さった地域の方々との交流の機会も多くとれるよう工夫した。

個々の利用者の身体状況及び生活環境に応じたサービス提供を基本として、残存機能の活性化を図り、重度化を防ぐことで、できる限り自立した日常生活を送ることができるよう支援を行った。

稼働率については、施設入所やショート利用が重なり、新規利用者の獲得ができず伸び悩み、低下してしまった。

## 2. 事業計画実施状況

### (1) 職員の資質向上の為の方策

#### ① 資格取得の推奨

3 年以上の介護経験を有する職員には介護福祉士国家資格の取得を推奨し、高度なレベルの知識や技術を習得する事でサービスの質の向上を目指した。平成 27 年度は、介護福祉士試験に 1 名合格した。

#### ② 職員教育と研修

平成 27 年度は、レクリエーション関係の外部研修に複数の職員が参加し、デイサービスに適した内容のもの、介護予防に効果のあるものについて、知識を深めた。また、外部研修の成果をもとに、他の職員に内部研修を行うことでデイサービス全体のレベルアップを図った。

平成 27 年度に行った内部研修については、次の通り。

	研修内容
4 月	接遇
5 月	緊急時の対応について
6 月	ユマニチュード
7 月	災害時の対応
8 月	糖尿病・肝炎について

9月	自己評価
10月	感染症について
11月	ノロウイルスについて
12月	認知症について
1月	食中毒対策
2月	来年度の事業計画
3月	平成27年度の反省

### ③ チームケアの確立

一人の利用者に対し、全ての職員が共通の認識に基づき接することができるよう、職員同士の意思疎通を図り、チームで支え合うという基本方針を確立するための環境作りに努めた。

## (2) 地域と連携を強化させるための方策

### ① 地域行事への参加

近隣のお祭りに出かけ、利用者にも大変喜んでいただくことができた。職員サイドで協力できるものについても可能な限り参加し、地域の方々との交流を深めた。

### ② 地域への積極的な情報発信

支援センターや他の在宅サービスの職員と協力して、民協や地区の集会にも積極的に参加し、パンフレットや季刊誌を配布する等により、積極的に情報を発信した。

### ③ ボランティアの充実

今年度より読み聞かせの方が、季節の本、昔懐かしい童話や歌を交えて楽しませてくれた。また、近隣保育園の園児による歌と遊戯は利用者にも大変好評で、園児との交流を喜んでいただけた。

## (3) 個別ケアの充実とリスク管理を徹底させるための方策

### ① 個別機能訓練の強化と向上

ケアプランを基に、ご家族の希望に沿った内容の個別機能訓練計画書を作成し、介護職員も協力して機能訓練を行った。訓練内容については、家庭では行う事が難しい運動等もできるだけ取り入れて、身体能力の維持、向上に役立てるよう工夫した。また、外気に触れ、景色を楽しんで頂くことを目的として、屋外歩行訓練も積極的に行ったところ、意欲の向上が見られ、楽しい雰囲気の中で行う事が出来た。

② 個別対応の拡大

個々の利用者について、ケアプランを基に、ケアマネジャーと連携し、利用者、利用者家族のニーズを把握した上で、柔軟に対応した通所介護計画を作成した。サービス提供に際しては、通所介護計画に基づき、個別対応を心掛けた。

③ リスクマネジメント意識の向上

ヒヤリハットをその場で報告することで、事故を未然に防ぐことができた。また、危険箇所や動作、事故につながる可能性のあるものについては、ミーティング時や朝礼時において、その都度改善策・対応方法についての検討を行い、改善に努めた。